

「平成 24 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」  
確定版



平成 25 年 4 月

伊勢湾再生推進会議

## 1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力のある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取り組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と、流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉にモニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様が、伊勢湾にもっと関心を持っていただき、伊勢湾の再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。



図 1 伊勢湾流域圏

注) 伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。  
(上の図の水色および緑色で示した部分)

伊勢湾再生推進会議

・伊勢湾再生推進会議構成団体

国土交通省・海上保安庁・内閣府内閣官房地域活性化統合事務局

農林水産省・林野庁・水産庁・経済産業省・環境省・岐阜県

愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

## 2. 「平成 24 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

### 2.1 モニタリング期間

平成 24 年 7 月 25 日（水）～8 月 27 日（月）（速報発表時）

### 2.2 モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施しました。

- ① 分析による水質調査（調査結果 p.7～15）
- ② 簡易水質テスト（調査結果 p.16～45）
- ③ ゴミ調査（調査結果 p.29～47）
- ④ 水生生物調査（調査結果 p.31～50）

### 2.3 モニタリング参加者

今年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 1 参加団体数の推移

	分析による 水質調査	簡易水質テスト、 ゴミ調査、生物調査
平成 24 年度	46	59
平成 23 年度	42	49
平成 22 年度	51	67
平成 21 年度	35	60

#### ◆ 分析による水質調査

##### 【行政機関】

岐阜県（環境生活部地球環境課、岐阜市、岐南町、羽島市、川辺町、多治見市、神戸町、大垣市、各務原市、美濃加茂市、瑞浪市、中津川市、可児市、東白川村）、愛知県（環境部水地盤環境課 建設部下水道課 尾張建設事務所、一宮建設事務所、海部建設事務所、知多建設事務所、西三河建設事務所、知立建設事務所、東三河建設事務所、水産試験場）、三重県（環境森林部水質改善室、四日市市、津市、明和町、志摩市、伊勢市、松阪市）、名古屋市 環境局地域環境対策課、四日市港管理組合 経営企画部 整備課、海上保安庁（第四管区海上保安本部、第四管区海上保安部警備救難部環境防災課、海洋情報部、名古屋海上保安部、四日市海上保安部、鳥羽海上保安部、中部空港海上保安航空基地、衣浦海上保安署、三河海上保安署、巡視艇しまなみ）、中部地方整備局（港湾空港部海洋環境・技術課、名古屋港湾事務所、四日市港湾事務所）

## ◆ 簡易水質テスト、ゴミ調査、生物調査

### 【行政機関】

第四管区海上保安本部（名古屋海上保安部、鳥羽海上保安部、四日市海上保安部、三河海上保安署、衣浦海上保安署、中部空港海上保安航空基地、巡視艇まきぐも）、中部地方整備局（海洋環境・技術課、三河港湾事務所）、三重県農林水産部、津市、岡崎市、愛知県

### 【大学・研究機関】

四日市大学

### 【市民団体・NPO 法人・個人】

ぐるーぷ「かすみ草」、庄内川に黒松並木づくり隊、鯨城・堀川と生活を考える会、NPO法人藤前干潟を守る会、扇川を愛する緑の会、伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局、やなぎも会、引山学区連絡協議会、瑞穂鯨城クラブ、みどりのまちづくりグループ、明治用水土地改良区、渡し場かもめ会、小野様（個人）、尾石様（個人）、NPO法人緑の会羽津、可児市めだかの楽校、小里川ダム里山教室、八尺川を守る西洞子供会、NPO法人阿漕浦友の会、四日市環境学習センター（川島地区、内部地区社会福祉協議会）、高松干潟を守ろう会、地球クラブ、雲出川フロンター、NPO法人すずかのぶどうグループ（亀山の自然環境を愛する会）、根本愛郷会、矢田・庄内川をきれいにする会、NPO法人糸貫川をきれいにする会、ハピックス、十四川を守る会、生田川マモロード会、河川環境を考える会、鈴鹿市立鼓ヶ浦公民館おじさんセミナー、まいバンク協議会（梅田川フォーラム）、別所団地西鹿乗川美化クラブ、日光川クリーンの会、ゲンゴロウ会、スナメリの海、なごや舞祭衆、高年エンバイロ21、大垣市生活学校、油ヶ淵流域環境モニタリング（愛知県）、流域モニタリング一斉調査（愛知県）

### 【企業】

東洋建設株式会社名古屋支店、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会、小塩通信株式会社、フェザー安全剃刀株式会社関工場、富士ゼロックスマニュファクチャリング株式会社鈴鹿事業所自然愛好会、横浜ゴム株式会社三重工場、神野建設株式会社、イビデンクリーンテック株式会社養老公園事務所

### 【学校】

桑名市立光陵中学校  
多気町立勢和中学校

## 2.4 水質調査地点

現在報告いただいているモニタリング調査地点数は、昨年度よりも多くの地点において実施していただきました。

表 2 一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質調査		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
平成 24 年度	450	223	673	357	32	389
平成 23 年度	483	109	592	119	34	153
平成 22 年度	569	234	803	189	39	228
平成 21 年度	264	69	333	78	28	106

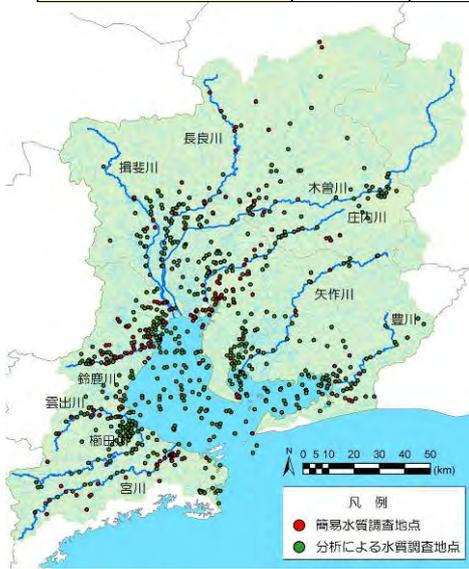


図 2 平成 23 年度の一斉モニタリング地点

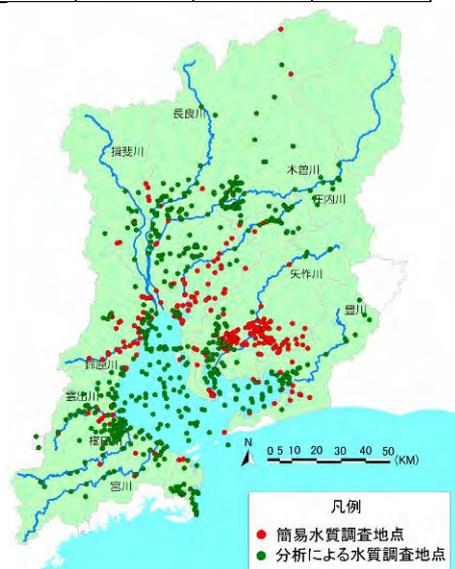


図 3 平成 24 年度の一斉モニタリング地点

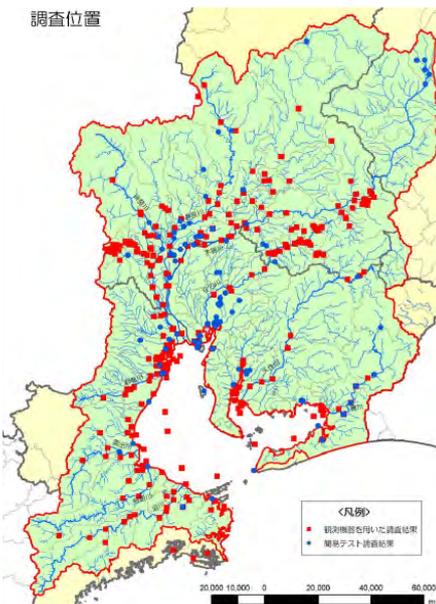


図 4 平成 21 年度の一斉モニタリング地点

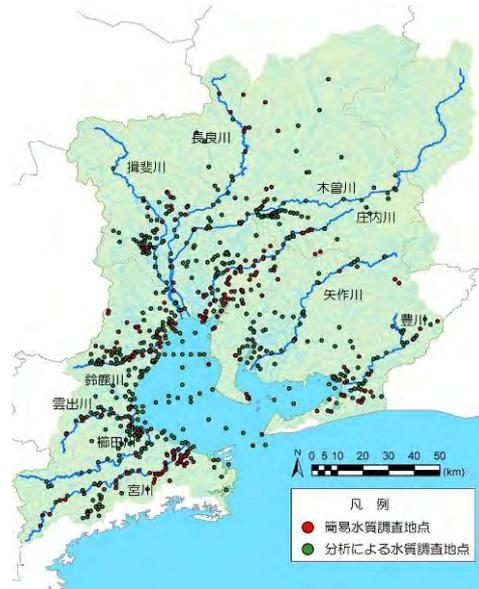


図 5 平成 22 年度の一斉モニタリング地点

※海域では、同じ場所で水深を変えて測っているところもあります。

## 2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況

一斉モニタリング期間（7/25～8/27）及び前後の気象状況を示しています。

一斉モニタリング期間前から期間中に1週間間隔程度にまとまった雨が降り、風速は7月末に津や伊良湖で高い観測値が記録されています。気温は比較的安定していました。

日照時間は、モニタリング期間の中頃に短い期間がありました。その他は概ね日照時間が長く、晴天が続いていたと考えられます。

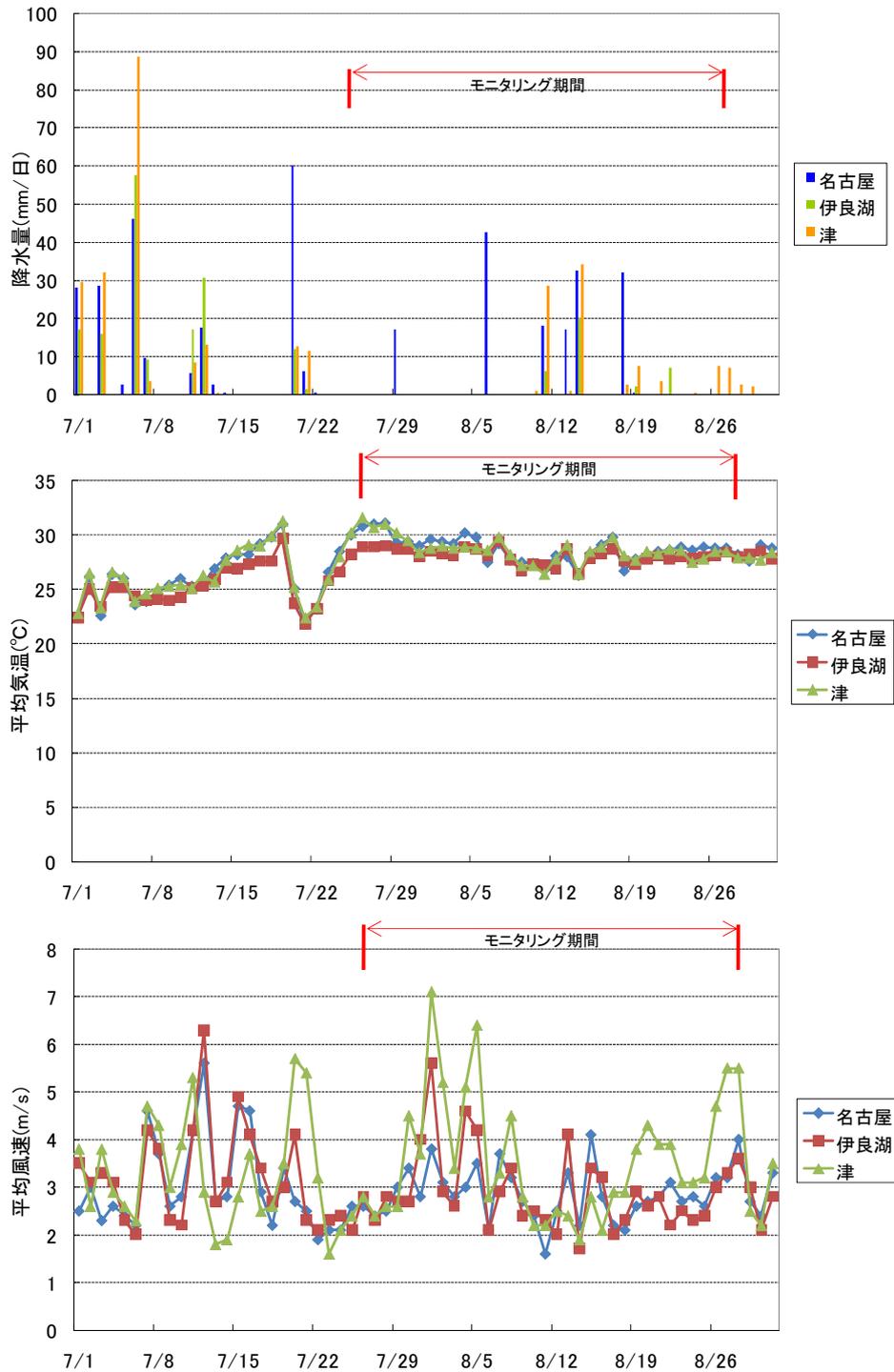


図 6 一斉モニタリング時の気象・海象状況①(降水量・気温・平均風速)

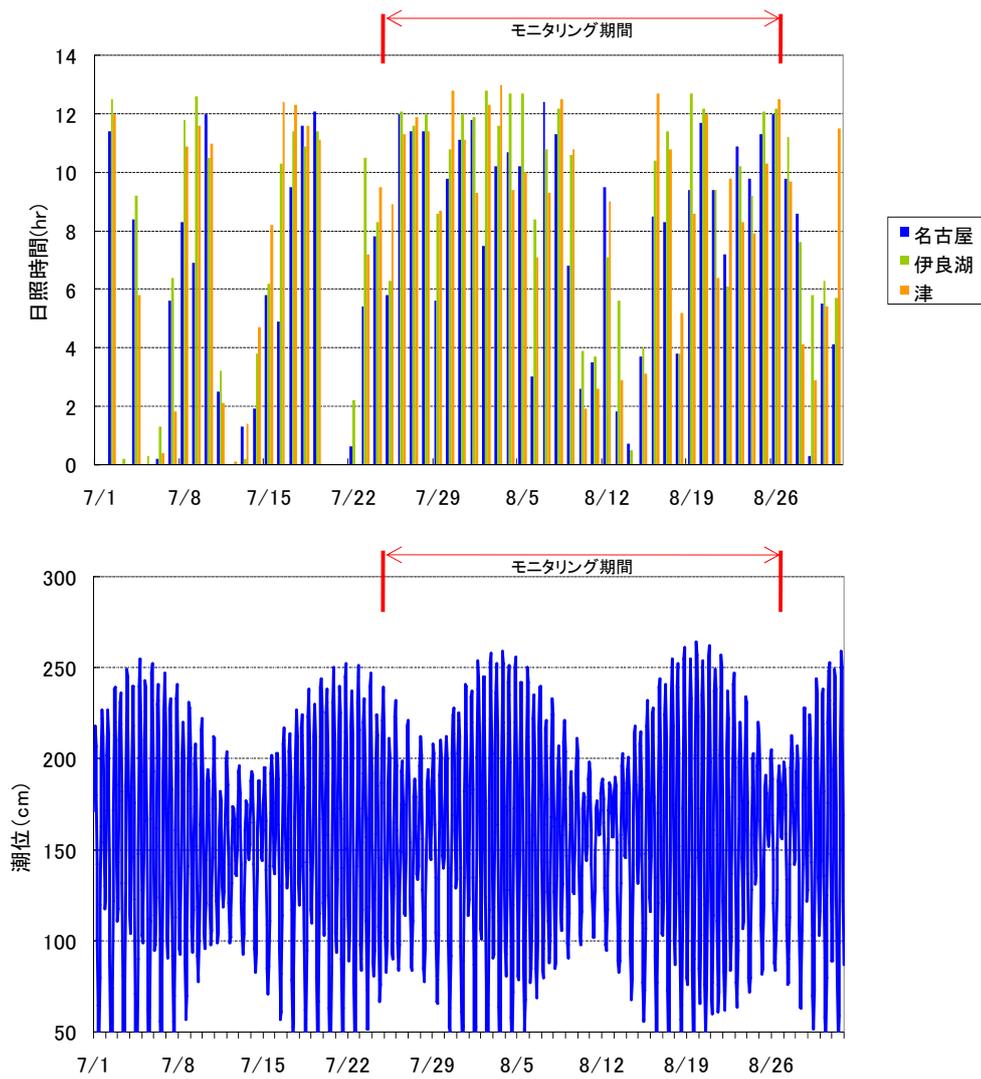


図 7 一斉モニタリング時の気象・海象状況②(日照時間・潮位)

### 3. モニタリング調査結果

#### 3.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング結果では次の8項目を示します。

- ① BOD（生物的酸素要求量）
- ② COD（化学的酸素要求量）
- ③ pH
- ④ 全窒素
- ⑤ 全リン
- ⑥ DO（溶存酸素）
- ⑦ SS（浮遊物質）
- ⑧ 大腸菌群数

<水質指標が示すもの>

① BOD	有機物による水の汚れを示します。有機物を微生物が食べてきれいにするために消費される酸素量のことです。汚れるにつれて値が大きくなります。
② COD	有機物による水の汚れを示します。有機物を酸化剤が化学的に酸化するときに消費する量を酸素量に換算したものです。汚れるにつれて値が大きくなります。
③ pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。水中の水素イオン濃度のことです。pH7が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④ 全窒素	水中に存在するいろいろな形態の窒素化合物における窒素の量を示します。窒素はリンと並んで動植物の生育にとって必須の元素であり、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると富栄養化し赤潮の原因となります。
⑤ 全リン	水中に存在するいろいろな形態のリン化合物におけるリンの量を示します。リンとは窒素と並んで動植物の生育にとって必須の元素であり、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると富栄養化し赤潮の原因となります。
⑥ DO（溶存酸素）	水中に溶解している分子状酸素量を示します。水中の酸素量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の魚界類や好気性微生物などの呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦ SS（浮遊物質）	水中に浮遊している物質の量を示します。一定量の水をろ紙でこし、乾燥してその重量を測ります。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧ 大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿汚染の指標として使われています。

## BOD (生物的酸素要求量)

有機物による水の汚れを示します。有機物を微生物が食べてきれいにするために消費される酸素量のことです。汚れるにつれて値が大きくなります。



図 8 BOD(分析による水質調査結果)

各河川とも上流のほうは 2mg/L 以下となっており有機物による汚れは少ないですが、中下流の市街地に入ると有機物による汚れが増えてきています。

## COD (化学的酸素要求量)

有機物による水の汚れを示します。有機物を酸化剤が化学的に酸化するとき消費する量を酸素量に換算したものです。汚れるにつれて値が大きくなります。

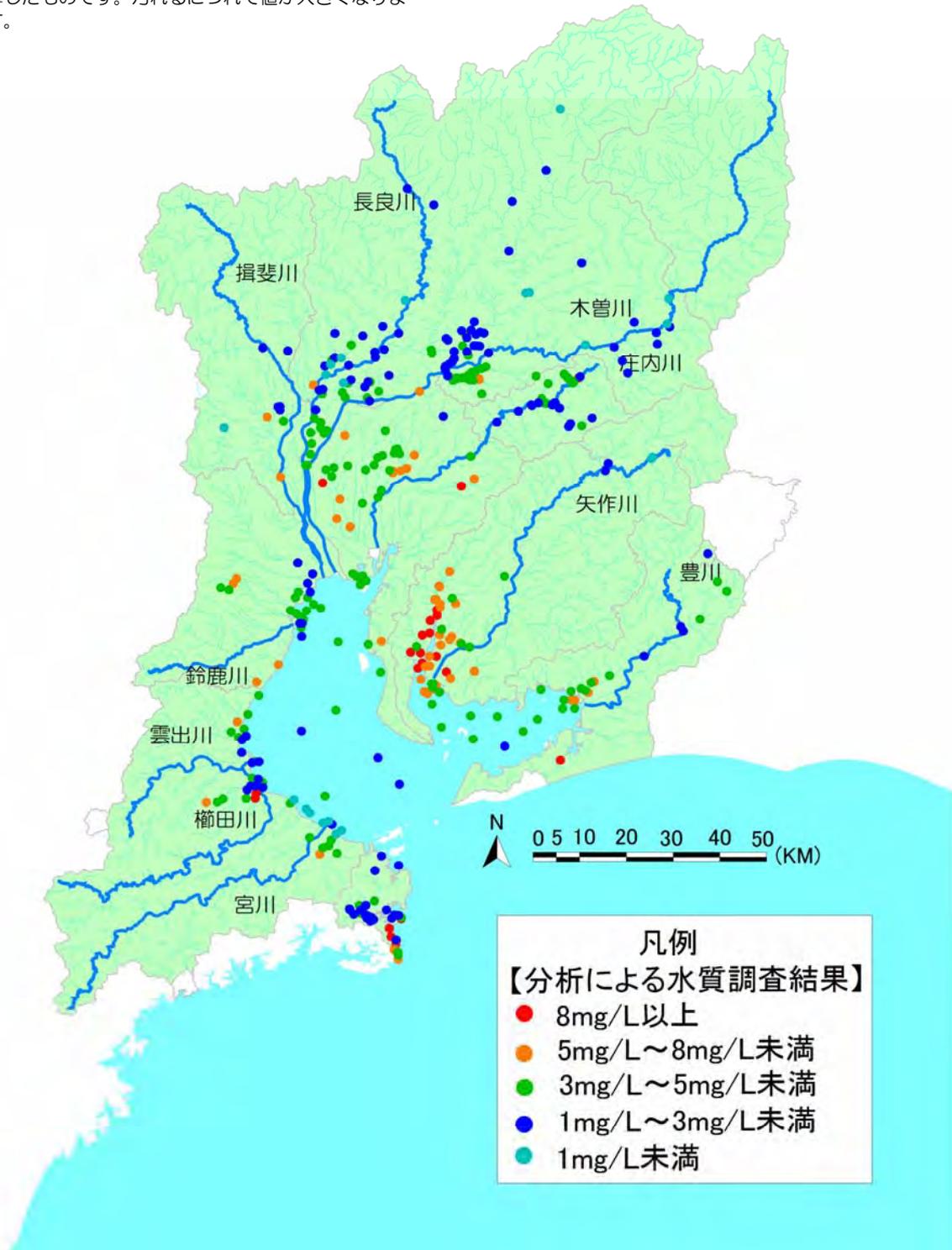


図 9 COD(分析による水質調査結果)

BOD と同様、各河川の中下流で値が大きくなっており、河川の中下流部では有機物による汚れが大きいことがわかります。海に出た後は希釈や自浄効果などで値は小さくなりますが、三河湾の上側では 5mg/L 以上の高い値を観測しており、有機物量が高いままとなっています。

## pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。  
水中の水素イオン濃度のことです。  
pH7 が中性、pH が 7 より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。



図 10 pH(分析による水質調査結果)

河川の pH は一般的に pH7 付近の中性で、河川の観測値の多くが pH7 付近となっています。河川の一部の地点では pH8 以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海の pH は一般的に pH8 前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は pH8 以上となっています。

## 全窒素

水中に存在するいろいろな形態の窒素化合物における窒素の量を示します。窒素はリンと並んで動植物の生育にとって必須の元素であり、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると富栄養化し赤潮の原因となります。



図 11 全窒素(分析による水質調査結果)

各河川の中下流で高くなっており、生活排水、田畑の肥料等による影響が考えられます。河川の河口部や海では低くなっていますが、三河湾奥では観測値が高い傾向にあります。

# 全リン

水中に存在するいろいろな形態のリン化合物におけるリンの量を示します。リンとは窒素と並んで動植物の生育にとって必須の元素であり、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると富栄養化し赤潮の原因となります。



図 12 全リン(分析による水質調査結果)

全窒素と同様に、各河川の中下流で高くなっており、生活排水、田畑の肥料等による影響が考えられます。河川の河口部や海では低くなっていますが、三河湾奥では観測値が高い傾向にあります。

## DO（溶存酸素）

水中に溶解している分子状酸素量を示します。水中の酸素量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の魚介類や好気性微生物などの呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。



図 13 DO(分析による水質調査結果)

大川（太い青線）では比較的 DO（溶存酸素）は多いですが、中小河川（細い青線）では DO(溶存酸素)が少ない箇所が見られ、酸素不足による水中の生物への影響や水の腐敗（におい）などが懸念されます。

（※海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の DO 分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。）

## SS（浮遊物質）

水中に浮遊している物質の量を示します。一定量の水をろ紙でこし、乾燥してその重量を測ります。汚れるにつれて値が大きくなります。



図 14 SS(分析による水質調査結果)

多くの観測地点は、25mg/L 以下となっており、SS(浮遊物質)による水の濁りは少ないといえます。



### 3.2 簡易水質テスト結果

参加者の方々には、様々な項目で調査していただきました。

<p>&lt;モニタリング調査項目&gt;</p> <p>水温、COD（化学的酸素要求量）、NH<sub>4</sub>（アンモニウム態窒素）、NO<sub>2</sub>（亜硝酸態窒素）、NO<sub>3</sub>（硝酸態窒素）、PO<sub>4</sub>（リン酸態リン）、天気、モニタリング地点の状況（ゴミの状況等）、生き物、水のおい、水の色、水量（量、速さ）</p>
--

その中で、調査した数が多く、伊勢湾の水質を示す、以下の5項目の結果を示しました。

- ① COD（化学的酸素要求量）
- ② NH<sub>4</sub>（アンモニウム態窒素）
- ③ NO<sub>2</sub>（亜硝酸態窒素）
- ④ NO<sub>3</sub>（硝酸態窒素）
- ⑤ PO<sub>4</sub>（リン酸態リン）

<水質指標が示すもの>

① COD	有機物による水の汚れを示します。有機物を酸化剤が化学的に酸化するときに消費する量を酸素量に換算したものです。汚れた水になるほど値が大きくなります。
② NH <sub>4</sub>	家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。 NH <sub>4</sub> が高い場合、すぐ近くで生活排水や工場用水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。
③ NO <sub>2</sub>	家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。 NO <sub>2</sub> はNH <sub>4</sub> がNO <sub>3</sub> に酸化される際の間生成物で、不安定な物質であるため、通常蓄積されることはありません。しかし、pH等の影響や窒素肥料の施肥量が多いとNO <sub>2</sub> が集積することがあります。
④ NO <sub>3</sub>	家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。 きれいな水はNO <sub>3</sub> の割合が高く、汚れた水はNH <sub>4</sub> の割合が高くなります。しかし、NO <sub>3</sub> が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では10mg/L以下と設定されています。
⑤ PO <sub>4</sub>	PO <sub>4</sub> は植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、富栄養化の原因となります。PO <sub>4</sub> が増加すると、植物プランクトンや藻類が異常発生し、環境に悪影響を与えます。

## COD（化学的酸素要求量）

有機物による水の汚れを示します。有機物を酸化剤が化学的に酸化するとき消費する量を酸素量に換算したものです。汚れるにつれて値が大きくなります。



図 16 COD(簡易水質テスト結果)

市街地の中小河川や支川の末端で観測値が高くなっており、有機物による汚れが大きくなっています。これは、中小河川や支川は、大河川に比べて水の量が少ないところへ生活排水が流入しているためと考えられます。

## NH<sub>4</sub> (アンモニウム態窒素)

家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。

NH<sub>4</sub>が高い場合、すぐ近くで生活排水や工場用水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。



図 17 NH<sub>4</sub>(簡易水質テスト結果)

市街地の都市河川で高い値を示しています。0.5mg/L以上になると、生物の生息環境としては良好とはいえない、とされています。

## NO<sub>2</sub> (亜硝酸態窒素)

家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。

NO<sub>2</sub>-NはNH<sub>4</sub>がNO<sub>3</sub>に酸化される際の中間生成物で、不安定な物質であるため、通常蓄積されることはありません。しかし、pH等の影響や窒素肥料の施肥量が多いとNO<sub>2</sub>が集積することがあります。



図 18 NO<sub>2</sub>(簡易水質テスト結果)

NO<sub>2</sub>(亜硝酸態窒素)は、NH<sub>4</sub>(アンモニウム態窒素)がNO<sub>3</sub>(硝酸態窒素)へと変化する際の間接生成物で、比較的不安定な物質です。市街地等では、0.007~0.05mg/L や0.05mg/L以上の値を示している場所があります。

## NO<sub>3</sub> (硝酸態窒素)

家庭下水や工場排水、動植物の腐敗物質やし尿、畜産排水、化学肥料より窒素が流入します。この窒素が多量に溶け込んでいると、川・湖・海を富栄養化させ、プランクトンの異常発生をもたらします。

きれいな水はNO<sub>3</sub>の割合が高く、汚れた水はNH<sub>4</sub>-Nの割合が高くなります。しかし、NO<sub>3</sub>が多量に存在すると人に影響を与えるため、水道水の水質基準では10mg/L以下と設定されています。



図 19 NO<sub>3</sub>(簡易水質テスト結果)

河川の中流で高い地点がみられることから、家庭下水のほかに、畜産や化学肥料によって高くなっていると考えられます。水道水の水質基準は満たしていますが、伊勢湾に流出すると富栄養化（プランクトンの異常発生）の原因の一つになるので、今後も確認していく必要があります。

## PO<sub>4</sub> (リン酸態リン)

リン酸態リンは植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、富栄養化の原因となります。リン酸態リンが増加すると、植物プランクトンや藻類が異常発生し環境に悪影響を与えます。



図 20 PO<sub>4</sub>(簡易水質テスト結果)

調査地点の多くで高い値が観測されており、生活排水の影響や田畑からの肥料の影響が考えられます。伊勢湾に流出すると富栄養化（プランクトンの異常発生）の原因の一つになるので、今後も確認していく必要があります。

### 3.3 調査状況写真

【団体名：矢田・庄内川をきれいにする会】

調査地点(大森橋下) 矢田川



調査地点(玄川橋下) 庄内川



【団体名：神野建設株式会社】

伊川津



白浜



六条湯



海陽町



西浦町

伊勢湾・三河湾環境基準の水域類型指定



【団体名：糸貫川をきれいにする会】



調査状況写真1

糸貫川 上流部

平成24年7月31日



調査状況写真2

糸貫川 上流部

山口取水口下流  
(左岸から右岸)



調査状況写真3

糸貫川 上流部

山口取水口下流  
(下流を望む)

【団体名：東洋建設㈱】

調査地点 B 石積み護岸より採水（護岸より下流を臨んで撮った写真）



伊勢湾流域圏一斉モニタリング 結果報告

1. 実施者 東洋建設㈱
2. 実施日 平成24年8月1日（水） 13:00~14:00
3. 報告日 平成24年8月3日（金）
4. 実施場所 東海市新宝町
5. 調査結果記入用紙 別途
6. 参加者 2名（名古屋支店）
- 7 状況写真

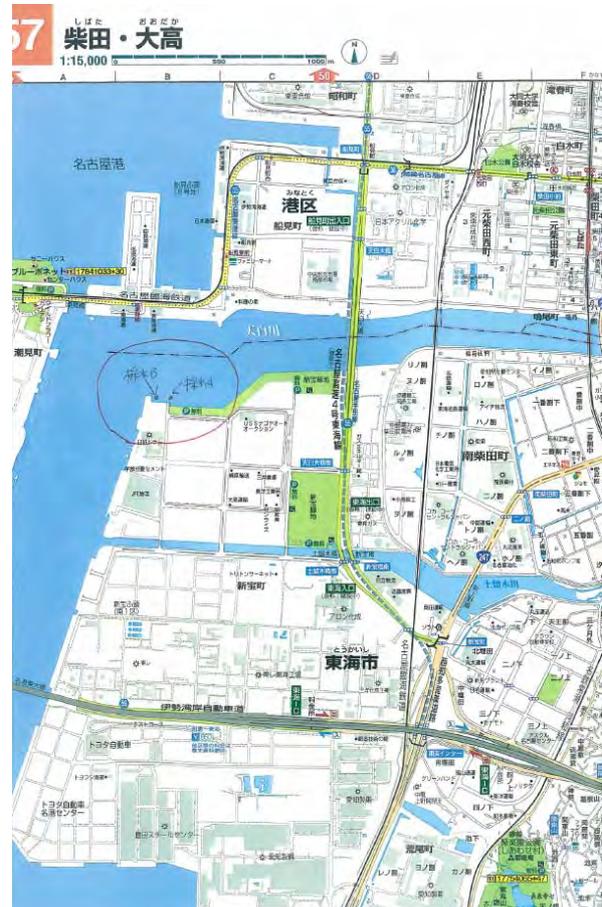
(1) 調査地点 A 棧橋先端より採水（護岸より上流を臨んで撮った写真）



(2) 簡易テスト比色状況（Bデータ）



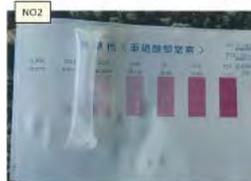
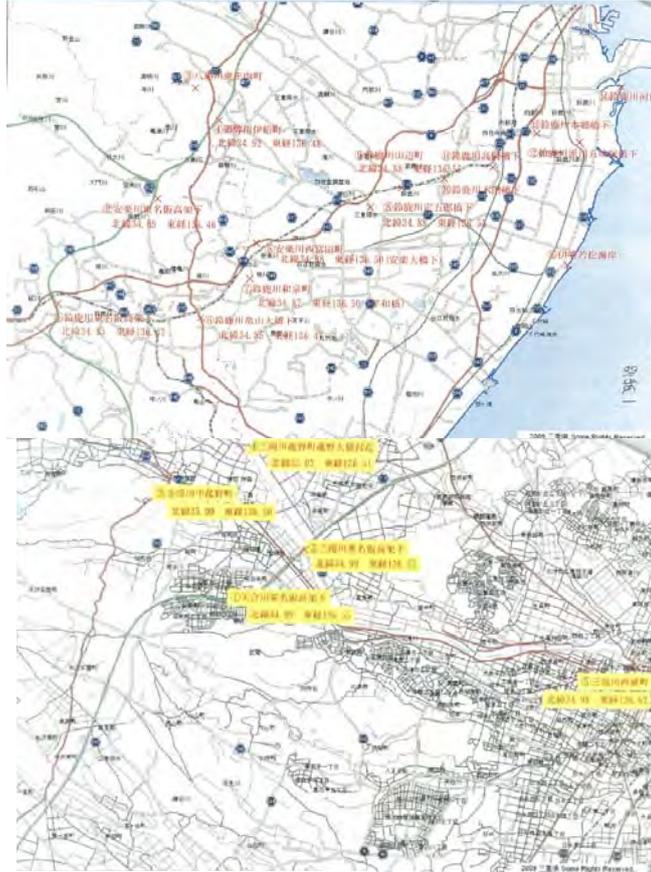
(3) コミの状況



(4) 調査実施状況 採水



【団体名： 富士ゼロックス 鈴鹿事業所自然愛好会 (1/2)】



【団体名：みなと建設工事 安全連絡協議会 (1/3)】

伊勢湾流域圏モニタリング

■調査予定地点：○

4点



■8/3 (金) 当日の調査場所



現地調査リーダー：對馬 崇 (不動テトラ)

- ・①→②→③→④の順で調査する。
- ・交通船1隻(船名:みやかせ) 請負者名:大旺新洋
- ・船上調査担当
  - 1) 透明度担当: 東洋建設
  - 2) 水温担当: 不動テトラ
  - 3) 採水担当(2名): 若狭建設 鈴中建設
  - 4) 記録担当: 不動テトラ
  - 5) 写真担当: 大旺新洋
- ・各地点採水後、インフォメーション室の前廊下にてバックテストを実施
- ・記録後、まとめ及び報告は工事村部会長

調査班	人数	担当者名	請負者名
工事村部会長	5人	對馬 崇	不動テトラ
		山本 淳也	大旺新洋

タイムスケジュール

- 10:00~ ボンツーン集合・準備
- 10:10~ ①地点 採取・調査
- 10:20~ ②地点 採取・調査
- 10:30~ ③地点 採取・調査
- 10:40~ ④地点 採取・調査
- 10:50~ バックテスト実施(インフォメーション室の前廊下)

バックテストリーダー：山本 淳也(大旺新洋)

テスト班	人数	担当者名	請負者名
工事村部会	5名	別紙	別紙

■調査項目

① 調査地点海域の水質調査

- ・ CO<sub>2</sub>, NH<sub>4</sub>, NO<sub>2</sub>, NO<sub>3</sub>, PO<sub>4</sub> (調査セットあり)
- ・ 水温
- ・ 透明度

\*水質調査は観測機器により以下を標準とする。  
 ・海面下0.5m(上層)  
 ・海底上1.0m(下層)

モニタリング調査状況

透明度調査



採水



試料採取(採水)



試料採取(採水)



バックテスト



記念撮影



【団体名：三河港湾事務所】

(汐川干潟沖)

(防波堤北沖)

<水面の状況及び水の色>



### 3.4 ゴミ調査結果

【団体名：NPO 法人鈴鹿のぶどうグループ】（亀山の自然環境を愛する会）

— ゴミ状態 —

河口より26km地奥左岸



渡りたまたまのウキガヤ

定五郎橋上流300m 右岸



農業用肥料袋



バーベキュー鉄板

【団体名：やなぎも会】

写真① 両岸の樹木の枝が川中に迫り出している様子



(↑)  
右岸側手前の樹木の枝が水面に接している。

「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」

堀川・小塩橋の水質調査

調査年月日 平成 24 年 7 月 25 日 (水)

満潮時刻:9:51、測定調査時刻:10:00。

とくに目立つごみは赤枠に示した。全般に水面が汚れていた。

小塩橋の上流側

この橋中央部が採水位置(↑)



写真② 小塩橋・右岸の樹木の枝先にゴミが付着し、周囲のゴミはわずかに下流方向(手前)に流れていた。



写真③ 同橋・右岸の枝、最も手前の枝先のごみの付着状態。

(3)

写真④ 幅下橋・左岸側、川面のごみが集合物となり、ほとんどもみが分散浮遊していた。



写真⑤

幅下橋の袂・下流側のごみの状態

幅下橋はモニタリング場所の小塩橋より一つ上流の約300m余の位置でこの間には橋はなく、22号道路が通過している。この橋からすぐ上流に朝日橋がありこれよりやや川幅が狭くなっている。一方上流から庄内川河水および名城水処理センターからの処理水即ち放流水の流れや上流への勾配があり水の遡上はすくなくなる傾向で、ゴミなどはこの地点で溜まりやすい状況にあると考えられる。

同橋・右岸側、迫り出した枝の先端部の周囲にプラゴミ類が付着し、写真には見えないが、細かいゴミが(満潮時刻に近く)浮遊していた。

細かい草、枯葉などごみ類は、幅下橋から上流は川幅が狭くなり満潮時に下流から上昇して浮遊・滞留しているものと予想される。

(4)

### 3.5 水生生物調査結果

【団体名：川島地区社会福祉協議会】

調査団体名	川島地区社会福祉協議会		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名	四日市市		調査参加人数	60 人
<b>指標生物</b> （見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）			<b>調査地点の概要</b> (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
水質階級 I	1	アミカ		
	2	ウズムシ		
	3	カワゲラ		
	4	サワガニ		
	5	ナガレトビケラ		
	6	ヒラタカゲロウ		
	7	ブユ		
	8	ヘビトンボ		
	9	ヤマトビケラ		
水質階級 II	10	イシマキガイ		
	11	オオシマトビケラ		
	12	カワニナ	●	
	13	ゲンジボタル	2○	
	14	コオニヤンマ		
	15	コガタシマトビケラ		
	16	スジエビ		
	17	ヒラタドROMシ		
	18	ヤマトシジミ		
水質階級 III	19	イソコツブムシ		
	20	タイコウチ		
	21	タニシ		
	22	ニホンドロソコエビ		
	23	ヒル		
水質階級 IV	24	ミズカマキリ		
	25	ミズムシ		
	26	アメリカザリガニ	11○	
	27	エラミミズ		
	28	サカマキガイ		
	29	セスジユスリカ	1○	
	30	チョウバエ		
水質階級の判定	水質階級		I	II
	1. ○印と●印の個数		0	2
	2. ●印の個数		0	1
3. 合計(1欄+2欄)		0	3	
この地点の水質階級は		II		
調査河川名			鹿化川	
調査地点名			新川島橋上流	
昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)			今年度の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
調査日時			2012年 7 月 29 日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
天気			<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
水温			24.5 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
川幅			約 4.55 m 水の流れの幅を整数で記入して下さい	
生物採取場所			<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
水深			約 10 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
流れののやさ			<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
川底の状態			<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
水のおい			<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
水にごり			<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている	
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)			魚類	
ガガンボ、ハグロトンボ、アカトンボ			ヨシノボリ、カマツカ、カワムツ、メダカ、	
オニヤンマ、マツモムシ、アメンボ			ドジョウ	
モクズガニ				
おたまじゃくし、トノサマガエル				
水草類			鳥類	
			その他、気づいたこと	

【団体名：内部地区社会福祉協議会】

調査団体名	内部地区社会福祉協議会	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに（ ）をつけて記入して下さい。	
市町村名	四日市市	調査参加人数	62人

指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)			調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級 I	1	アミカ				
	2	ウズムシ				
	3	カワゲラ				
	4	サワガニ				
	5	ナガレトビケラ				
	6	ヒラタカゲロウ				
	7	ブユ				
	8	ヘビトンボ				
	9	ヤマトビケラ				
水質階級 II	10	イシマキガイ				
	11	オオシマトビケラ				
	12	カワニナ				
	13	ゲンジボタル				
	14	コオニヤンマ	1 ○			
	15	コガタシマトビケラ				
	16	スジエビ	44 ●			
	17	ヒラタドROMシ	1 ○			
	18	ヤマトシジミ				
水質階級 III	19	イソコツブムシ				
	20	タイコウチ				
	21	タニシ				
	22	ニホンドロソコエビ				
	23	ヒル				
	24	ミズカマキリ				
	25	ミズムシ				
水質階級 IV	26	アメリカザリガニ	1 ○			
	27	エラミミズ				
	28	サカマキガイ	9 ●			
	29	セスジユスリカ				
	30	チョウバエ				
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		0	3	0	2
	2. ●印の個数		0	1	0	1
3. 合計(1欄+2欄)		0	4	0	3	
この地点の水質階級は			II			
調査河川名			内部川			
調査地点名			矢矧橋上流			
昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)			今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した			
調査日時			2012年 8 月 4 日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)			
天気			<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
水温			20.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)			
川幅			約 19.3 m 水の流れの幅を整数で記入して下さい			
生物採取場所			<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
水深			約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい			
以下は、生物を採取した場所にあてはまるものチェックして下さい						
流れのはやさ			<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)			
川底の状態			<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input checked="" type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他			
水のおい			<input type="checkbox"/> においは感じられない <input checked="" type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、糞のような不快感のあるにおい)			
水のにごり			<input type="checkbox"/> 透明またはきれい <input checked="" type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている			

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
ガガンボ、ハグロトンボ(ヤゴ)		アカザ(絶滅危惧種)	
サナエトンボ(ヤゴ)、コヤマトンボ(ヤゴ)、		ヨシノボリ類	
チャバネヒゲナガカワトビケラ、カゲロウ類		タモロコ	
アメンボ類、ヌマエビ、ウシガエル(幼生)		ドンコ	
モノアラガイ、ゲンゴロウ類(幼生)			
水草類		鳥類	その他、気づいたこと 川原にハグロトンボ、ウスバキトンボが飛んでいた

登録した内容を修正する場合は、内容を上書きして「修正して登録する」ボタンを押してください。  
写真のみを変更する場合は、そのまま「修正して登録する」ボタンを押して、次の画面で写真を変更してください。

修正して登録する 入力内容のリセット 修正を中止する

経度	136° 24' 44"	淡水・感潮(汽水)の選択	<input checked="" type="radio"/> 淡水域 <input type="radio"/> 感潮域(汽水域)
緯度	34° 41' 39"	水質階級の判定	
河川名 (※変更不可)	長野川	水質階級 I	1.アミカ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 2.ナミウズムシ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 3.カワゲラ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 4.サワガニ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5.ナガレトビケラ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6.ヒラタカゲロウ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7.ブユ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8.ヘビトンボ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9.ヤマトビケラ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 31.ヨコエビ類(新指標) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
参加人数	35 人 (整数で入力してください)	水質階級 II	イシマキガイ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> オオシマトビケラ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> カワニナ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ゲンジボタル <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コオニヤマト <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コガタシマトビケラ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> スジエビ(旧指標) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ヒラタドロムシ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> キイトシラミ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
調査地点名	津市稲葉町地内(稲葉)	水質階級 III	イソツリカメシラミ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> タイコウチ(旧指標) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> タニシ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 三ホントロソコエビ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> シマイシビル <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ミズカマキリ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ミズムシ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
調査日時	2012 年 7 月 21 日 10(午前10)時	水質階級 IV	アメリカザリガニ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> エラミミズ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> サカマキガイ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ユスリカ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> チョウバエ類 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
天気	曇り	上記の生物を未発見	<input type="checkbox"/> 未発見
水温	22.0 °C	水質階級の判定	水質階級 I 1.○印と●印の個数 6 2 0 0 2.●印の個数 2 1 0 0 3.合計(1.欄+2.欄) 8 3 0 0 その地点の水質階級 水質階級 I
川幅	24.0 m		
生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸		
水深	約 20 cm (整数で入力してください)		
流れのほやさ	速い(毎秒60cm以上)		
川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他		
水のおい	<input type="checkbox"/> においは感じられない		
水にごり	透明またはきれい		
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)	1.ヒゲナガカワトビケラ 2.シマトビケラ 3.コカゲロウ 4.シロタニガワカゲロウ 5.チババタムシ 6.ユスリカ 7.ガガンボ 8.アメンボ 9.モノアラガイ 10.カニ		
魚類	1.ヨシノボリ 2.ハゼ 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>		
水草類	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>		
鳥類	1. <input type="checkbox"/> 2. <input type="checkbox"/> 3. <input type="checkbox"/> 4. <input type="checkbox"/> 5. <input type="checkbox"/>		
その他、気づいたこと(最大300文字)			
写真(「修正して登録する」ボタンを押した後で修正できます)	写真が登録されていません。		

修正して登録する 入力内容のリセット 修正を中止する

## 4. 感想等

一斉モニタリングの参加者から感想を頂きました。

◆参加者名、団体名：河川環境を考える会

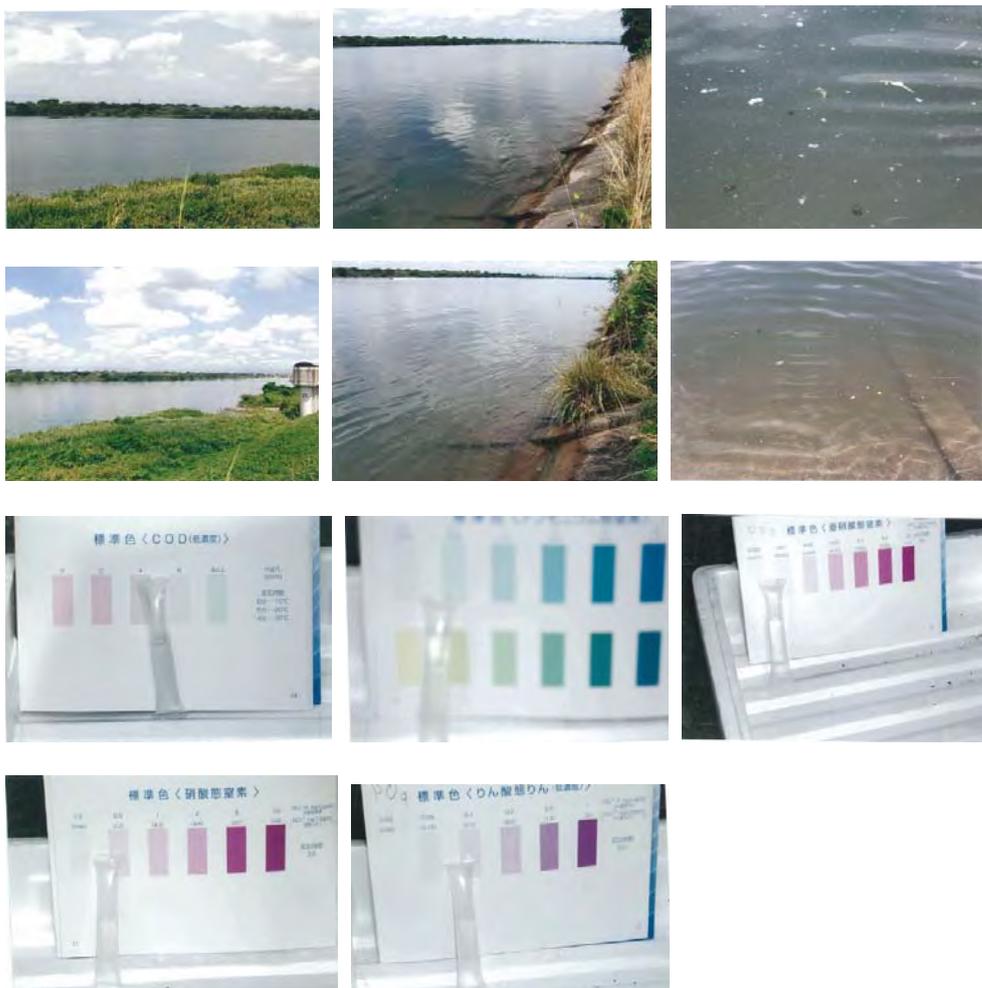
◆主な観測地点：木曽川

- ・ 川中 650mの木曽川はおだやかに流れている。風は弱い。気温 36.5℃と高い。水際部の水は深緑の茶褐色で透明度は低かったが、川岸コンクリートに茶色がかかった藻がはえていた。
- ・ 今回の調査地域は一宮市の西部方面で（大和連区、旧尾西市西部地域の生活排水・農業排水）排水用水路の一つである西中野排水場があり、ここから日常的に木曽川へとそそがれている。この排水場を基点として上流部域、下流部域 300m の水質相関に関心をいただいたので調査を行った。全般的に評価値は高くない値でしたので日光川西中野排水には問題が無いと判断しました。しかし、年々PO<sub>4</sub>P の値が少しずつ大きくなる様な気がしますので（水のおい、水生物が少ない）気がかりです。

(質問)

- ・ 水道水のNO<sub>2</sub>、NO<sub>3</sub>の基準値を10mg/L以下と設定しているのは問題がありませんか。（一宮市の水道水は旨くありません、基準値をもっと下げる事はできませんか）

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：黒松並木つくり隊

◆主な観測地点：庄内川 横井大橋

- ・ カワウが大きなマダカを捕えて呑み込むのにたいそう苦労していた。水を飲みながら魚を飲もうとしているのにはビックリ。

◆主な観測地点：名古屋港日光川尻 名港トリトン西大橋右岸

- ・ リン栈野球場 4 面大盛況。熱中症か、救急車がきた。
- ・ ちょうど太平洋フェリーが到着。トリトン通過。カモメの大群を従えてるかのように進んで行く。

◆主な観測地点：名古屋港 金城大橋北詰

- ・ 潮の香りなく、むしろ対岸の大工場の排煙のような不快な匂いがかすかにある。
- ・ 老人たちは車で来て、皆仲間内のように色々な話を親しんでいる。中には車内で寝食するような様子もあり、着替えがたくさん干してある。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：小塩通信

◆主な観測地点：長良川 鏡大橋

- ・ 川の水を汲みに行く際、その川まで辿り着くまでに、草が茫々に生えていて、少し怖かった。次回は、草刈り道具や、殺虫剤などを持参して、道をつくって、虫刺されにも気をつけたいと思いました。

◆ 観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：雲出川フロンテア

◆主な観測地点：雲出川 国道 23 号下

- いろんな形で自然環境への PR を実施しているが、やはり、先生のカリキュラムの多さ及び父兄での関心の余裕のなさで広がっていかない原因だと解る。本来は、自然環境からの点が多く、関心を持たせるためには、国自身がリーダーを尊重し、広げる分野に力を入れるべきであろうと思う。
- 実際によい点をあげると、①防災に活用できるもの、学びも多い。②動植物の生活から色々な発見があり、その面白さは次への探求心が生まれる。③皆で調査をやる中で、リーダーを支えるサブリーダーの役割も生まれる。団体での成果は社会でも個人でも得るものが多い。(系の要素あり。)④学校等で得るもの以上に調査、研究、作成等多くのものが得られ、受験時代では学べないもの、いろんな発見の喜びを知り、ノイローゼやウツの弊害の対処にもなる。
- 私自身いろんなスポーツとか調査、仕事等に携わってきたが、そのお返しとしてやっていますが、方法が悪いのか残念な形になっています。やはり、人との協力の出し合いです。地域とか老人層になると、やることより壊しの思想が多く、努力層が少ない地域はふこうである。日本人のほとんどは、こんな形が多い。
- もし、人材バンクでいろんな系統区分し、話し合いをすれば、シルバーセンター以上のものができ、少し差がついた所に若干の抵抗感もあるが、それを乗り越える所も社会貢献への道でもあるかも。

◆主な観測地点：雲出川：大正橋、支流長野川、石橋、赤岩橋、立花橋、支流波瀬川・八太新橋、天花橋

◆観測地点及び観測の様子

雲出川・水質調査及び水生生物状況(2012.7) 今回分...

写真状況	説明	写真状況	説明
	雲出川・国道23号下		雲出川・赤岩橋
	雲出川・大正橋		赤岩橋付近・家族連れ水遊び
	雲出川支流・長野川		雲出川・立花橋
	雲出川・石橋		雲出川支流・中村川上流～家族団体水遊び
	7/10水生生物1 雲出川～久居中学3年生		7/10水生生物4 講師説明
	7/10水生生物2 採集中		7/10水生生物5 水質調査(薬品)
	7/10水生生物3 生物確認		7/10水生生物6 雲出川調査評価

写真状況	説明	写真状況	説明
	7/11水生生物1 雲出川～久居中3年生 調査説明		7/17水生生物1 榑田川～相可高校 調査説明
	7/11水生生物2 川まで自転車にて		7/17水生生物2 詳細説明
	7/11水生生物3 採集生物		7/17水生生物3 採取チェック
	7/11水生生物4 雲出川調査 結果説明		7/17水生生物4 調査結果説明
	7/17水生生物1 雲出川調査 稚園小5年 調査前説明		7/17水生生物3 雲出川調査 結果説明
	7/17水生生物2 川のお話		

◆参加者名、団体名：NPO 藤前干潟を守る会

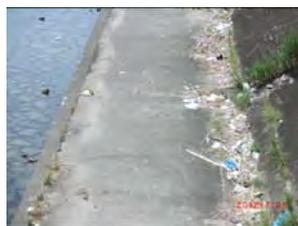
◆主な観測地点：庄内川 庄内大橋（国道 23 号）

- ・ 最大満潮時国：9：51 最大干潮時刻：15：45
- ・ 天気がよく、川面は心地よさを感じるが、ヨシや水際には昨年 9 月の 15 号、今年 6 月の 4 号台風の影響で相当量のゴミが流されてきている。人が容易に近づけないため、満潮時に船からの回収が必要と思われる。
- ・ 夏場としては、透視度が 70.5 cm、COD が 6 mg/l とまずまずの値。
- ・ 最大満潮時刻の 1 時間前にサンプリングしたためか、河川の水質としてより海の影響が大かかもしれない。
- ・ 名古屋市の市民モニタリングを同じ場所で（4 回/年）実施しているが、時々下水の臭いがする時があるが、今回は感じなく安心した。

◆主な観測地点：新川 新川大橋（国道 23 号）

- ・ 最大満潮時国：9：51 最大干潮時刻：15：45
- ・ 庄内川と同様、天気がよく、川面は心地よさを感じるが、ヨシや水際には昨年 9 月の 15 号、今年 6 月の 4 号台風の影響で相当量のゴミが流されてきている。人が容易に近づけないため、満潮時に船からの回収が必要と思われる。
- ・ 庄内川に比べ透視度が 48.0 cm と悪い。COD が 6 mg/l と通常の値。
- ・ 最大満潮時刻の 1 時間 10 分後にサンプリングしたためか、河川より海の影響が大かかもしれない。（しかし川底が浅いためか、サンプリング時に砂が混入。）
- ・ 新川右岸の小段に、6 月の 4 号台風で潮位が高かったため、ゴミが打ち上げられた。そのままになっており景観がかなり悪くなっている。連日、夕方にはウナギ釣りの人が来て、さらにゴミを落としていく。
- ・ 夏場になるとよく見かける水草が流れている。
- ・ 調査は、継続することが大事で、その結果を多くの人に知っていただくことが大切と考えます。

◆観測地点及び観測の様子



新川大橋



庄内川

◆参加者名、団体名：桑名市立光陵中学校

◆主な観測地点：大山田川；ミニストップ（上流と中流の間地点）、近鉄鉄橋下（中流と下流の間地点）、上流（C地点）、いび川合流地点（下流）、パチンコ（中流）

- ・ 大山田川の最上流では、赤茶色の濁っている水がみられた。「飲んだら腹痛を起こすので飲みたくないな」と思った。亀がいたので「すげなー」と思った。
- ・ C地点では、かなり透明度が高くなっていた。亀も少しいた。
- ・ ミニストップ所では、より透明度が高くなり魚がたくさんいた。次のパチンコ付近まで葦が茂っており、葦が水を浄化したと考えられる。データでもそのことが確かめられた。パチンコ付近より下流では葦がほとんど生えていない。
- ・ パチンコ付近鉄橋、いび川との合流地点と下流へ行くほど見た目のきれいさはほとんど変わらないが、データではパチンコ付近以降は、下流へ行くほど少しであるが汚れている。

◆観測地点及び観測の様子



新橋付近(中流と下流の間)



大山田川・C地点(上流)



大山田川・下流(大山田川といび川の合流地点)



大山田川・ミニストップ付近(上流と中流の間地点)



パチンコ店付近(中流)



大山田川・ミニストップ付近(上流と中流の間地点) 魚



町屋川・採水場所



大山田川・C地点(上流) アシ



町屋川・採水場所



大山田川・C地点よりさらに200m 上流 魚

参加者名、団体名：根本愛郷会

◆主な観測地点：大原川

- ・ 調査時期を5月頃にしてほしい。

◆観測地点及び観測の様子

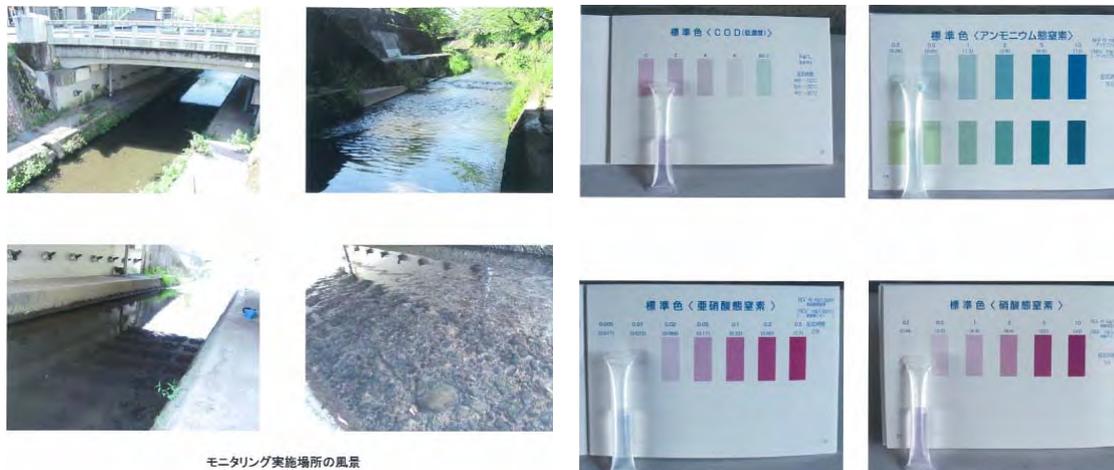


◆参加者名、団体名：フェザー安全剃刀（株） 関工場

◆主な観測地点：関川 平和橋下

- ・ 今年で三度目の参加となりますが、例年と同じ場所にて調査を実施しました。調査実施地点は、川幅約4m、水心40～50cm、両岸共にコンクリートにて整備されています。
- ・ 当日は晴天で日差しが強く、気温も30℃を超えていましたが、橋の下の日陰で時折風もあり、比較的快適に調査を行うことができました。
- ・ 河川の状況は、通常とほぼ同水位で水も澄んでおり、小さな魚が数十匹泳いでいました。また、鮎の姿を数匹観察することができました。
- ・ 調査結果もすべての項目が低く表れたことから、改めて関川がきれいな水で保たれていることを実感いたしました。今後も様々な水生生物が生息する環境づくりの一環としてモニタリングが等への参加協力を継続していきたいと思えます。

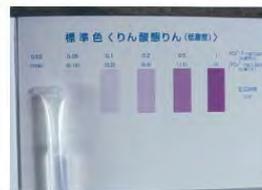
◆観測地点及び観測の様子



モニタリング実施場所の風景



鮎の姿を確認



◆参加者名、団体名：明治用土地改良区

◆主な観測地点：矢作川

- ・ 昨年度と同じ地点で同様の調査を行った。COD の数値が昨年度より小さくなっており、調査キットの説明書での「川としては0～5 mg/l が望ましい」との範囲内の数値に今年が入った。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：瑞穂鯉城クラブ

◆主な観測地点：山崎川 かなえ橋

- ・ 水量が少ない

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：イビデンクリーンテック（株）養老公園事務所

◆主な観測地点：滝谷川 養老の滝 滝壺

◆主な観測地点：滝谷川 松風橋

- ・ 今回初めて参加したが、こうした取り組みを通じて、我々の生活を見直し、環境に対しどのような負荷をかけているのか具体的に知ることが、非常に重要なのではないかと感じた。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：NPO 法人「鈴鹿のぶどう」グループ（亀山の自然環境を愛する会）

◆主な観測地点：鈴鹿川 河口より26km地点

- ・ 水質は昨年度とほとんど変わらず、カワムツ、オイカワ、ヨシノボリ、シマドジョウが稚魚、成魚ともよく見られる。タモを入れると必ずエビ（主にスジエビ）が入る。
- ・ 浅い所がほとんどないので安全性も高い。ただ石につく藻の色が緑から茶緑色に変わってきたのが気になる。
- ・ カワムツとオイカワの割合が、カワムツが7～8割と多くなってきたのが気になる。また、カマツカが少なくなった。
- ・ 一方、さらに上流にいるはずのタカハヤが採れたり、スナヤツメが一尾だが採れたりが目される。
- ・ これだけの安全安心の場所をもっと人々が体験して親しんでほしい。

◆主な観測地点：鈴鹿川 定五郎橋上流約300m

- ・ 26km地点から約15km下流の地点も調査地はほとんど変わらず、清流に近い水質を保っていると感じた。
- ・ 同日10時頃、鈴鹿川山下橋での三重県河川管理事務所との水質調査（DO、pH、水生昆虫調査、透明度）でも「AⅡ型」と判断された。この状態が保持できるよう努力していきたい。
- ・ ただ鈴鹿川の水量が少なく安全性はよいのだが、今年のような猛暑での断流がないことを願うばかりである。
- ・ ゴミに対するモラルが向上しない限り、バーベキューなどは止めさせたい。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：ぐるーぷ「かすみ草」

◆主な観測地点：堀川 小塩橋

- ・ あいかわらず水がよごれ、なかなかきれいになりません。
- ・ 木曽川等の水も上流から流してほしい。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：小野氏（個人）

◆主な観測地点：木曽川

- ・ 笠柄みなと公園も堤防きれいです。（犬のフン有り）
- ・ 木曽川へ水質調査に 7月 28 日土曜日午後 5 時 25 分。小学生が川で泳いでいます。注意しても帰りません。でも 5 時 55 分にもう一度注意いたら帰りました。（注意の看板とロープもほしい。）

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：日光川クリーンの会（蟹江水郷会）

◆主な観測地点：日光川 近鉄線上流 90m サンサンブリッジ下部

- ・ 日光川 1ヶ所の川でも名古屋港当り（藤前干潟）より、多くのゴミ類が流されて湾に出ている。
- ・ 日光川の 302 号線の橋の近くは、ゴミが多く漂流している。私は時々見に行っている。

◆観測地点及び観測の様子



日光川  
サンサンブリッジ



サンサン  
水質調査



日光川  
サンサンブリッジ下部の石井堤  
岸部はゴミが漂流している



水深 3.4m  
水深 2.7m



日光川  
サンサンブリッジ  
左岸を下流へ向かう橋脚  
岸部はゴミが漂流している  
29.07.28日撮影 日光川クリーン

◆参加者名、団体名：やなぎも会

◆主な観測地点：堀川 小塩橋

- ・ CODは8以上、アンモニウム態窒素3.0は昨年（23年度）比、差はない。亜硝酸態窒素は0.5（0.15）と約3倍、硝酸態窒素4.0（但し、NO3-N 8.0と高く、解説付を参照、換算した。）で約2倍高く検出した。リン酸態リンは0.4で差がなかった。堀川水系は窒素成分が高く検出される。
- ・ モニタリング時刻（10時）は名古屋港の朝潮時刻の満潮（9：51）に近く、水流はわずかに下流方向に動いていたが、特にゴミは川面にいっぱい分散浮遊し、ところどころ集合体を形成して、小塩橋1つ上流の幅下橋（22号線）近くまでゴミが見られた。ゴミは草類（緑枯れたもの）、ペット類、同瓶が見られた。これは満潮に至るまで下流から上流に向かってさかのぼり、ゴミの滞留状況で多く見られたものと推定する。

◆観測地点及び観測の様子

写真① 堀川の柳木の枝が川中に倒れている様子



「伊勢湾流域一斉モニタリング」  
堀川・小塩橋の水質調査  
調査年月日 平成24年7月25日(水)  
調査時刻9時51分(測定調査時刻+10分)  
とくに目立つごみは悉く回収した、全般的に水質が汚れている。

小塩橋の上流側  
この橋中央部が採水の箇所(赤)

写真② 幅下橋と下流側のゴミの状態



幅下橋も二つ折り橋脚の小塩橋より一つ上流約300mの位置でこの橋には橋は十分に見通れている。この橋からすぐ上流に幅下橋がある。この橋からすぐ上流から流下川には、緑のゴミが散らばっている。一方上流から流下川には、緑のゴミが散らばっている。この橋からすぐ上流から流下川には、緑のゴミが散らばっている。この橋からすぐ上流から流下川には、緑のゴミが散らばっている。

写真③ 小塩橋-右岸の柳木の枝先にごみが付着し、周囲のごみはわずかに下流方向(車道)に散らばっている。



写真④ 同橋-右岸の枝、道も手前の枝先のごみの付着状態。



小塩橋の下流側



小塩橋-下流側は川面はほぼ全線に小さいごみが浮遊して(枯草、草など)写真のごみの集合体が分散し、下流方向に流れ始めている。

写真⑤ 同橋右岸側(河川)のゴミ回収(メンバー4人グループ)



写真⑥ 同橋の下流側は、ごみが川面全線に枯れ草、草など下流方向に流れている。



写真⑦ 調査時刻9時51分のネットナユープ回収。



◆参加者名、団体名：三重県農林水産部

◆主な観測地点：阪内川 三郷井関 五曲橋上流約 200m

- NH<sub>4</sub>・NO<sub>2</sub>・NH<sub>3</sub> の数値は標準ですが、COD・PO<sub>4</sub> の数値が高いような結果がでました。
- リン酸態リンは上流部に田園、畑が多いので化学肥料によるものか、山間部からの影響かわかりませんが少し多い感じです。COD 値が7の反応でしたが、数日間雨がなく、晴天続きで河川の流れが影響しているのかもしれませんが。河川の環境は動植物も多く、ゴミ等の不法投棄もなくよいと思います。

◆主な観測地点：三渡川 千貫通門 三渡橋 150m 上流

- 住宅街を抜け、護岸沿いに少し歩くと千貫通門き出ます。除草が適度に行われ管理が行き届いている感じです。樹木、昆虫が多く、河川の環境は良いと思いますが、日照り続きで水量がなく護岸周辺の土が見え少し匂います。悪臭ではなく土の匂いです。中洲、護岸周辺に樹木、アシ群が生息し水の浄化に適していると思うのですが、上流からのペットボトル、発砲スチールが絡み、大雨、台風時に河口に流れ出ると思います。水門を挟んだ風景は樹木が多く、良い環境だと思えます。COD 値以外の数値は良いと思うのですが、一日だけの数値では判断できないと思います。ペットボトル、発砲スチロールが少しありました。

◆主な観測地点：愛宕川潮止通門 愛宕川左岸潮止通門 50m下流

- 採水場所は潮止通門から 50m下流ですが、大潮の干潮時歩けるほど潮が引く場所です。土質はヘドロ状で川面に泡の発生も多く、生き物も少ないように感じられます。ゴカイ等の穴が確認できますが、カニ類（チゴガニ、コメツキガニ、アシハラガニ）は確認できません。通門上流部は水量も豊富でアシが繁茂し、昆虫類も生息していると思います。通門で自然環境がかなり異なっています。簡易水質調査結果で COD 値が高く、生き物には適していないようです。
- 日照り続きで水門が閉められていましたが、干満の差だけではなく上流部の水量があれば堆積物のヘドロの質も異なると思います。

◆主な観測地点：愛宕川潮止通門 金剛川潮止通門下

- 川幅が広くハモボウが咲き、潮の匂いも適度に感じられ親水性を感じられますが、採水場所の通門では潮とヘドロ臭が交わった匂いを感じます。
- 周りの環境は感潮デルタ地帯で潮湿植物の育成も目視できますが、流量が少ないのか潮の環境が悪いのかヘドロの堆積物が多いと思います。簡易水質調査の結果、COD 値が高く高温になればヘドロ臭と硫化水素の気泡が増え、悪臭を放つと思います。下流にマリーナ、ガラス工場等があり、油、化学薬品等の事故が心配されます。
- 護岸周辺にペットボトル、空き缶、発砲スチロール、生活ゴミあり。

◆参加者名、団体名：三重県農林水産部

◆主な観測地点：中村川一志橋付近 一志橋左岸 10m 下流

- ・ 中村川一志橋周辺は保育園、公民館があり、周りは田園、畑と自然環境には恵まれたところだと思います。
- ・ 動植物も多く、採水時小魚がたくさん群れをなして泳ぎ回っていました。
- ・ 数値結果は中流域では良いと思います。化学肥料、農薬、工場排水、生活排水等の影響も数値上問題なく良いと思います。大雨の時、河川に流れ込む数値の値はことなるでしょうが、たくさんの小魚と動植物に守られ心配がないと思います。

◆主な観測地点：雲出川雲で新井頭首 小戸木橋 300m上流左岸

- ・ 野鳥のさえざりが多く、水量も流れもあり河川周辺は田園、畑が多く住宅街、工場も少な動植物には良い環境だと思います。
- ・ 水質結果を確認すると雲出川下流部ですが不純物が少なく感じられます。
- ・ 毎年、河口部には多くの渡り鳥が飛来し、貝採取の漁師、漁船も多く出漁されます。水生動物観察会では多くの生き物を観察でき、自然に恵まれた環境にあると思います。
- ・ 化学肥料、農薬、油膜、不純物が検出されないように巡回したいと思います。

◆観測地点及び観測の様子



阪内川親水公園上流 樹木が多い場所 採水場所は濁りもなく、川底が見えます。

透明度は良い 魚が目視できます。



三渡川千貫通門下流 水量が無く臭う。 通門上流部 河川の色は土色です。 三渡川合流部 護岸は人工物です。



色鯉が群れ逃げる様子がありません。愛宕川潮止通門 流れが無くヘド臭い。簡易水質調査結果待ち状態

潮止通門上流部 護岸土止堤防



潮止通門上流部より撮影、動植物多し。

河口幅は広く 200 位あると思います。 潮止通門上で採水作業



潮の流れが無く、土埃の浮遊を確認



右岸にはハマボウが育成



堰堤上流 護岸堤防は土止め



堰堤・魚道・橋脚はコンクリート



水量・流れがあり景観もよい



簡易水質調査判定待ち



雲出川 伊勢湾岸道路橋脚下 採水



簡易水質調査判定待ち



堰堤・魚道 水量・流れ多し



周辺散策 不法投棄・ゴミの確認

◆参加者名、団体名：引山学区連絡協議会 保健委員会

◆主な観測地点：香流川 引山橋下流 50m

- ・ COD 及び NO3 がとびぬけて悪い。理由がわかれば知りたい。
- ・ 香流川クリーン作戦を年、春と秋に開催しているが、年々ゴミが減少傾向にあり喜んでいいる。参加人員は香流、引山両学区で 500 名、一部、上流域に声かけをして長久手市も参加頂いている。
- ・ 願わくば、水あまりの時、愛知用水の導入が実現すればさらに水質向上によって、かつて泳ぎのできた川に戻したい。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：NPO 法人阿漕浦友の会

◆主な観測地点：阿漕浦海岸 阿漕ヶ浦

- ・ 海浜は漂着物、貝殻などは台風 10 号の波浪のため、砂に埋まってほとんど見られない。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：地球クラブ（NPO 法人市民ネットワークすずかのぶどう気付）

◆主な観測地点：鈴鹿川 堰堤下 50m

- ・ 回数を重ねてきた結果、手際よく測定できるようになった。
- ・ 「亀山の自然を愛する会」と一緒に、別々の場所に分かれて測定した。
- ・ 会員の都合がつかず、グループ2名で測定した。
- ・ 今年の雨量が多かったせいか川原にいつもは多いゴミが流されていたし、流木も少なめだった。
- ・ 印象として、臭いもなく水面もきれいで、水質は健全に保たれていると感じた。

◆主な観測地点：鈴鹿川 鈴鹿川河川緑地

- ・ 途中に、別の「水生生物調査」挟んだため、ハイヌーン時間帯の調査になった。
- ・ 昨年と同付近での調査だったが、夏の降雨量が多かったため、川の流れの位置が大きく変化していた。
- ・ 最初に行った亀山・大岡寺町の水質、水の色、臭いなどについて、中流域に下ったポイントだったが、ほとんど差がないように感じた。
- ・ 時間帯と太陽の日差しが強烈で、水温が上流部を大きく超えたので驚いた。
- ・ 8/19(日)にほぼ同じポイントで、子供たちと「第12回夏の鈴鹿川体験」をやるのが楽しみになった。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：扇川を愛する緑の会

◆主な観測地点：扇川 上汐田橋

- ・ 本年も5月に有志20数名で、川掃除を実施。上流大池周辺、中流国道302号下、下流上汐田橋周辺を投げ込み自転車をはじめ軽トラック1台分のゴミを回収。
- ・ 今回の調査は、上汐田橋での干潮時と満潮時源流の大池と3ヶ所で行うことができた。
- ・ 大池、源流とはいえ、周囲を住宅地で囲まれた環境でゴミも多く、汚れたイメージ。
- ・ 扇川、干潮時、ゴミが見当たらず、水質もまあまあというところ。あいかわずコイが多いのは考えもの。満潮時、水位の差は1m位、水面に浮く茶色い泡、ゴミ等が気になった。水質も干潮時に比べて悪かった。

◆主な観測地点：扇川 大池（白土）

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：多気町勢和中学校

◆主な観測地点：櫛田川

- ・ ゴミもなく大変きれいな川原だと感じました。来年度もぜひ調査をしたいと考えていますので、よろしくお願いします。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：梅田川フォーラム（まいバンク協議会）

◆主な観測地点：梅田川 大崎橋

- ・ 当日は猛暑日で、炎天下で長時間観察は熱中症の心配もありました。老人と子供で懸念されましたが、無事にスケジュールを終了できました。
- ・ 梅田川は全国的に有名になったヒガタアシの駆除の為の浚渫が済んだばかりで、水辺の生物観察芭蕉が少なく、橋下ばかりを考えていたが、炎天下の干潟も観察場所で、ベンケイガニの穴を掘って調べ、ゴカイ等が見られた。ちょうど上潮で、エビの子供等小さな生物を多数捕獲し、子供たちは生物（カニ、エビ、クラゲなど）の多さに驚いていました。
- ・ 子供4名、大人17名（講師含む）の参加があり、初回にしては多数参加がありました。水質検査は興味大で取り組み楽しく行事ができました。

◆主な観測地点：山崎川；山崎川河口、内張川；内張川河口

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：八尺川を守る西洞子供会 八尺川を守る西洞長寿会

◆主な観測地点：八尺川 西洞地内公民館前

- ・ 「つなげよう未来へ八尺川の豊かな自然」を合言葉に 30 年間地域で河川の浄化活動に取り組み、川遊びのできる水質はとつながった。
- ・ 水質調査を通じて子供たちへ「水」の環境の学習も同時に実施。大人から子供へ確実に伝わるのが、地域の河川と水質の良さを誇りに思える川づくりをこれからも続けなればと思う。
- ・ 今年3月には地域73名(子供会、長寿会、一般)が川島町自然共生研修センターに出かけ、勉強し、新たに伊勢湾流域の上流の住人として水質を汚さない先法を考えさせられた。担当者の方の説明も解り易く感謝。ありがとうございました。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：ゲンゴロウ会

◆主な観測地点：荒池

- ・ 今回は昨年と比較して異常気象の関係か、藻類の繁殖が少なく、水温のためか、釣り人の話では魚が釣れなくなったとのこと。鳥類も皆無で鳴き声も聞けなかった。蝉しぐれのみ。今年は異常としか考えられない。
- ・ 今年は昨年と比較して、すべてが異常に思え、池の水位を下げているためか、本当に静かな池である。釣り場の私設栈橋もなく、野鳥も少ないので散策に来た市民をがっかりさせていると思う。風が通れば非常にさわやかで、快適なところである。いつも思うが、整備して市民の憩いの場としたらと思う。近くに農業センターにあり、良い環境だと思う。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：スナメリの海

◆主な観測地点：大井川 中流域

- ・ スナメリの海では、3年前の夏にアカウミガメの産卵があり、約100匹がふ化して海に帰っていきました。その年から海岸の清掃活動を2回小学生と父兄スナメリの会で行っています。その他、漁船でスナメリウオッチングを年1回行っていますが、見ることはできませんので、昨年は4人乗りのヘリコプターで伊勢湾、三河湾を約20分間5回飛行してウオッチングしました。
- ・ ウミガメ、スナメリのために、今後も海岸清掃、モニタリング調査を続けていきたいと思えます。

◆主な観測地点：聖崎、鷺ヶ崎、海田川、大井川；下流域

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：鯉城堀川と生活を考える会

◆主な観測地点：堀川 港新橋

◆観測地点及び観測の様子

平成24年8月1日「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」水質調査風景



◆参加者名、団体名：十四川を守る会

◆主な観測地点：米洗川 しんおきばし

- ・水深は浅いが流れる水はきれいであり、ゴミもなくきれいな川という感じであった。

◆主な観測地点：十四川 豊栄橋

- ・十四川河口には水害対策用の水門があり、この水門の前に「ヘドロ」が堆積する。ヘドロの多くは川に発生する「藻」が流れ込んで堆積するものであるが、藻が発生する要因は家庭排水と思われる。
- ・公共下水への早期接続のPR活動も必要であるが、地域住民一人一人が川を汚さないという意識を持つことが大切と思われる。

(参考)

- ・十四川を守る会では、十四川の清流化と河口ヘドロの悪臭対策として、定期的にEM団子を作り投入している。

◆観測地点及び観測の様子

伊勢湾流域圏一斉モニタリング実施報告

「米洗川河口・しんおきばし」

1. パックテストの結果



COD



アンモニウム態窒素



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素



りん酸態りん

2. 調査地点の写真(米洗川河口・しんおきばし)



採種地点から西方を眺む  
・川幅 9m ・兩岸、川底ともコンクリート張り



しんおきばしの下にて取水  
・水深は浅く 5cmから 10cm程度



・取水場所(しんおきばしの下)



しんおきばしから西方を眺む



しんおきばしから東方を眺む



しんおきばしから西方を眺む

※参考  
・川中に砂の堆積が多く水量も少ないが、透明できれいな川である。  
また、水深がないためか魚は確認できなかった。

◆観測地点及び観測の様子

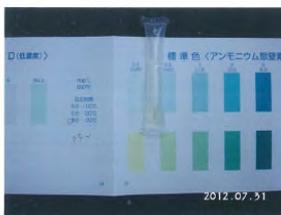
伊勢湾流域圏一斉モニタリング実施報告

「十四川河口・豊栄橋」

1. パックテストの結果



COD



アンモニウム態窒素



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素



りん酸態りん

2. 調査地点の写真(十四川河口・豊栄橋)



十四川河口の豊栄橋の下で取水  
・川幅 11m ・水深 40cm~50cm程  
・兩岸・川底ともコンクリート(三面張り)



豊栄橋より西方を眺む



遠方は国道1号線(豊栄橋より)



豊栄橋付近の状況



豊栄橋の東側

※参考

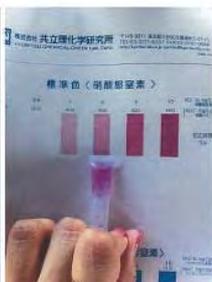
・川底はヘドロが堆積し、水の色は黒緑で透明度は殆ど無い。また、ゴミも散見されるが、臭いはない。流れもなく一見汚れた川であるが、5cmから8cmほどの魚が結構いる。

◆参加者名、団体名：伊勢湾流域圏再生ネットワーク事務局

◆主な観測地点：音羽川；御油橋、矢作川、土岐川；庄内川土岐観測所前、大洞川、庄内川；大当郎橋付近

- ・ 多くの箇所で調査することができればいいと思う。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：みどりのまちづくりグループ

◆主な観測地点：大谷川；大谷川源流、内津川合流点 泉橋、庄内川合流点前 五反田橋、庄内川；庄内川上条河畔林

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：鈴鹿市立鼓ヶ浦公民館おじさんセミナー

◆主な観測地点：堀切川；下流、中流、磯山川；下流、中流

- ・ 初めて一斉モニタリング調査に参加しました。
- ・ 試薬での反応時間をタイマーで正確に期しましたが時間誤差はどの程度許されるか等、まったくの初心者向け取扱い方法の検討をお願いしたい。
- ・ 測定した日の対象河川は、降雨が全くないにもかかわらず水量が豊富であり稲作用とはいえ、末端河川も鈴鹿山系の豊富な地下水の恩恵かと感心した。
- ・ 測定結果の簡単な評価指標があれば測定箇所の状態を判断でき、周りに話ができるのですが、素人対応もご考慮願えると幸いです。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：なごや舞祭衆

◆主な観測地点：矢田川 矢田川橋緑地

- ・ 提出した調査日、場所を子供たちの馴染みの場所、安全な場所ということで変更しました。申し訳ありません。
- ・ 今回、モニタリングに初めて参加させていただきました。調査は会員の親子（小学1年生、年中）にお願いしました。自分たちの住んでいる身近な川は魚が住みやすい川なのかどうかを調べよう！ということで、まずお父さんに手伝ってもらって水汲み、調査キットの反応時間を計り、キットの色が変化していく様子に興味を持ってくれました。
- ・ ゴミは地域の方が整備されているみたいで、少なかったです。ロケット花火のゴミを2つ見つけて得意顔でした。
- ・ 調査結果は、PO4が多いといえることは、家庭排水などの汚れが流れ込んでいるのではと思います。
- ・ 子供たちが楽しくかかわっていく川と親しめるような環境にしていくことが大事だと思います。来年また同じ場所で調査できればと思っています。ありがとうございました。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：生田川マモロード会

◆主な観測地点：生田川

- ・ 水質を判断する目安にはpHの測定値が重要になると思うのですが、pH数値を記入する項目があるとよいと思います。
- ・ モニタリング記入方法（システム）が改良されると良いのではないかと感じました。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：第四管区海上保安部（名古屋海上保安部 三河海上保安部 衣浦海上保安部 四日市海上保安部 鳥羽海上保安部 中部空港海上保安部航空基地

◆主な観測地点：伊勢湾 名古屋港

- ・ 採水時、イワシの稚魚の群れを見ることができました。

◆主な観測地点：三河湾 三河港（豊橋）

- ・ 三河港豊橋地区の海水を採水し、調査した結果、CODの濃度は測定限界を超え、またりん酸態の濃度が比較的高かったが、逆にアンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素及び硝酸態窒素の濃度は低かった。
- ・ 同結果から考察すると採水場所付近及びその周辺の海水は、見た目通り汚れていることが実証された。

◆主な観測地点：伊勢湾 衣浦港

- ・ 伊勢湾再生を目指し、今後も調査を継続してもらいたい。
- ・ しかしながら、パックテストでの調査は正確性に問題があるため、分析機関での詳細な調査も一考する必要があるのではないか。

◆主な観測地点：伊勢湾 四日市港

◆主な観測地点：伊勢湾 伊良湖

- ・ 今後も継続して、水質調査を実施していきたい。

◆主な観測地点：伊勢湾 常滑港

- ・ モニタリング当日は市内中学生の職場体験学習があり、本調査時には当基地所属の海上保安官が指導の上職場体験中の中学生にも調査をしてもらった。

◆主な観測地点：伊勢湾 鳥羽港

- ・ 今後も継続して、水質調査を実施していきたい。

◆観測地点及び観測の様子



採取場所



COD



◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：ハピックス

◆主な観測地点：阪内川 城山橋付近

- ・ 今までは河川の状態は、見た目、臭いでしか分からなかったが、調査セットを使用することによって詳しい成分が知れてよかったです。

◆主な観測地点：櫛田川 両郡橋

- ・ 今回のモニタリング調査で、櫛田川はきれいだと分かりました。これからも川を汚さないようにしていきたいです。

◆主な観測地点：堀通川

- ・ 自分の住んでいる近くの水質を知れるということは中々ない機会だったのでとても良い経験をしました。水質が分かることによって周囲の他の環境まで影響するような気がしました。

◆主な観測地点：宮川 度会橋下

- ・ 川周辺にはゴミがないが、川の中にはゴミがあった。10年位前に比べて、川も濁っていて残念に思った。

◆主な観測地点：一ノ瀬川

- ・ 予想通りの結果が出て満足。

◆観測地点及び観測の様子

◆参加者名、団体名：富士ゼロックス FXMFG 鈴鹿事業所自然愛好会

◆主な観測地点：安楽川

- ・ 昨年と比較するとゴミが減少していた。
- ・ 水量が少なく、川底にはヘドロのように沈殿物があり、少し臭いもする状態でした。

◆主な観測地点：鈴鹿川；鈴鹿川亀山大橋下、和泉町平和橋

- ・ 調査地点の50mほど上流に水門があり、生活排水が流れ込んでいます。
- ・ 調査地点の水はきれいでしたが、緑色の藻のようなものが川岸に付着しており、昨年より増えているように感じました。

◆主な観測地点：鈴鹿川；定五郎橋下、山辺町

- ・ 泳いでいる子供たちがおり、気持ちよさそうでした。

◆主な観測地点：鈴鹿川 本田橋下、高岡橋東、派川、河口1km点

- ・ 前回までは、満潮、干潮を気にせず採取を行いましたが、今回は河口付近であることから、満潮直後の時刻に採取を行いました。水量がかなり異なりますので、満潮時はほぼ海水に近いと思われます。

◆主な観測地点：伊勢若松漁港、金溪川、三滝川、三滝川支流矢合川

- ・ 昨年より少しゴミなどもあり、悪化しているのではと感じました。
- ・ 子供と一緒に参加しました。水質調査を行う項目は、それぞれ専門的で難しいですが、小学校の夏休みの宿題として、藻が繁殖していた理由などを調べるにはいいかもと感じました。

参加者名、団体名：川島地区社会福祉協議会 四日市市環境学習センター

◆主な観測地点：鹿比川 矢矧橋上流

- ・ 鹿比川にカワセミがいると知ってびっくりした。
- ・ 普段は入れないから楽しかった。
- ・ 川にいろんな生き物がいることが分かった。

◆主な観測地点：三滝川 老松橋

- ・ COD を使って水質検査をしたのは初めてで、こんな調べ方があるんだと思った。これからは水を汚さないように気をつけよう。
- ・ パックの実験が楽しかった。透明だった水がパックに入れると色が変わるのは、びっくりした。
- ・ 環境について、水質が分かったので楽しかったです。
- ・ 意外と川の水も汚れていてびっくりした。
- ・ ジュースなどを捨てないように、料理では洗い物を少なくするようにしようと思った。
- ・ できるだけ、川や海をきれいにしたいです。
- ・ 色々身近なところから気をつけていきたいと思います。
- ・ 水質検査で水がすごく汚れているので、もうちょっと水をきれいにしたい。
- ・ エコ活動（清掃）にもっと参加する。

◆主な観測地点：内部川 矢矧橋上流

- ・ 絶滅危惧種が取れて嬉しい。
- ・ 去年より水が少なくて生き物が少ない。

◆観測地点及び観測の様子

参加者名、団体名：可児市めだかの楽校

◆主な観測地点：可児川 可児市役所北側

- ・ 今回は、小学生1人（親子）と中学生2人そして私たち（可児市めだかの楽校）、可児市環境課職員合わせて12人が参加した「モニタリング」になりました。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：岡崎市

◆主な観測地点：神田支流 小針町

◆主な観測地点：乙川

◆主な観測地点：男川 檜山大橋

- ・ より良い水循環になるように、各地域で協力して、三河湾、伊勢湾がよい環境になるように協力したい。
- ・ 環境問題は息長く続けるためにも、環境教育が一番大切だと思います。小学校からの教育に力をいれたいです。

◆主な観測地点：竜泉寺川

◆主な観測地点：鹿乗川 下川田橋下

◆主な観測地点：岡崎市内青木川

- ・ COD が 7 ppm と目で見る感じより水質が悪い。
- ・ 小魚がたくさんいて、それなりの川の様子がある。川の両サイドは雑草が繁り、子供等は近づけない。
- ・ 川底の石にアユのハミ後を発見し、汚れた川で生きている魚たちの健気さを感じた。

◆観測地点及び観測の様子



◆主な観測地点：鉢地川 名鉄高架橋下流

- ・ COD は毎回やっているが、その他の項目は初めてであったので、大変興味があり、面白かった。しかしながら、改善点として意見を申し上げます。
- ・ ①パックテストの包装紙に COD とか NO2 とかの記号が印刷されているが、識別しがたい。メーカーの名前等が印刷されており、その上にテストの記号が印刷されている。両者がダブって識別しがたいものがあつた。PO4 は不鮮明であつた。色を替えるとか改善が必要。
- ・ ②標準色とサンプルを比較する場合、標準色の上部にサンプルを置いて比較するが、標準色の上に数字が記入されているので目障りとなる。(標準色の下に数字を記入したらどうか。)

◆主な観測地点：青木川 滝町仁王門横

水、水辺は自然である。川の近くには近づけないのが残念だが、人が近づけないということが逆に川がきれいなのかもしれない。

◆主な観測地点：更沙川

- ・ 岡崎市の水環境調査、身近な水環境の全国一斉調査、伊勢湾流域圏一斉モニタリングに参加しています。調査方法等、統一してもらえるとよいが。

◆主な観測地点：伊賀川 リブラ西側、乙川右岸

◆主な観測地点：愛知産業大学ため池

- ・ 通常の池と違い生活排水がかなり流れ込んでいるので、少し特殊な環境だと思います。しかし、この池の水は下につながっている池、最後には川につながっているため、調査する意味はあるでしょう。CODなど数値の大きさが意味することが、分かるともっといいのではと感じました。

◆観測地点及び観測の様子



◆主な観測地点：鹿勝川

- ・ 水不足等水の大切なことを知るために良いことだと思います。
- ・ 川の環境保全活動に市民全員で活動するようにするとよいと思います。

◆主な観測地点：鹿乗川 蓮花寺橋

- ・ 川底堆積汚泥に沈殿した腐敗繁茂で茶褐色に変色、これがカーペットを敷き詰めたよう。
- ・ 紙類、草、藻、腐敗茂、一般廃棄物などが沈殿浮遊しながら流下している。
- ・ 当河川辺に立つ尺で悪臭を感受する。また川底を攪拌すると鼻を突く異臭で気分を害す。
- ・ 油膜が川面に少量浮遊し流下している。
- ・ 不備不具合で流下水の水質 COD 等の測定値が悪いのでは。
- ・ 当河川に放流される各種排水が富栄養化にあるものと思料致します。
- ・ この時期 5 月度～8 月度（主に）は田園が稲作生育の耕作期で各種々の施肥また除草等が薬剤を施し、これが夏期猛暑特に昼夜の極暑で田園の藻草など異状発生を促し腐敗茂草となり河川に入り沈殿また浮遊流下している。生活排水また小規模事業所等の排水に関しても大小異なれど同様に、当河川流域に湧き水はなく他に流下水の希釈は望めないものです。

(追記)

- ・ 水質汚濁防止のみでなく大気及び土壌汚染防止がモニタリングの大テーマになるのではと思います。人命が悲しく失われる昨今身近な安全がほど遠く感じられます。本件モニタリングが或る分野で心楽しい日々到来に成ると良いですね。

◆主な観測地点：乙川 乙川美保橋付近

- ・ 水質調査でも、いろいろあると思った。
- ・ みため透明で澄んでいるので満点に見えるが、そうでないことが分かった。
- ・ 犬の散歩時にゴミ拾いをしているが、毎日ゴミ袋にいっぱいになり、あいかわらずポイ捨てが多い。上流の竹やぶは粗大ゴミが捨てられており、目に余る。流域のゴミを皆で拾う活動（報酬面でも）があるとよいと思う。

◆主な観測地点：青木川

- ・ 特別のことはありませんが、市の調査ボランティアといえど、市の側から身分を明らかにする名札が必要と感じた。

◆主な観測地点：矢作川 日名橋下流

- 矢作川の水は透明できれいですが、ゴミが多いと感じました。ゴミがなくなる方法を考えたいです。今はまず、ゴミを持ち帰るといった意識を皆が持てるといいです。
- アンモニアや窒素関係のパックテストの値は低かったのに、COD だけが低い法だったので、なぜかなと思った。
- 矢作川は測定地点付近は安全だと思った。
- 川の水は透明できれいだけど、COD の値が高かったなので、なぜかなと思った。

◆主な観測地点：北野町車側に当る経度

- 河川の水調査を実施しましたが、河川の近くに立ち寄るとやや臭いがしました。家庭雑排水や工場関係の排水など水質とあまり良好とはいえません。水質に敏感なボタルが生息しない理由に、以前から汚水がかなり水質調査に悪循環している現状です。もっと家庭雑排水や各工場の排水などの河川の水質向上に何とか良い対策が必要と思われます。
- 昔のようにボタルが生息するように、水環境の改善や少しでも良い対策と水質向上に、市民一人一人の協力が必要かと感じます。これ以上、河川や海、湖など水汚染の予報対策を行政が実施して欲しいと思います。
- 私も一斉モニタリングに行った水調査でこれから水質向上とゴミ対策（生態系）に、これから末長く調査していくつもりでいます。少しでもボタルが近づくように河川などの調査に推進していくつもりです。

◆主な観測地点：小網川 藤川町加原

◆主な観測地点：矢作川の支流青木川 岡崎米河内町開元橋

- 伊勢湾流域圏の全小学校の高学年児童が取り組んでほしいです

◆主な観測地点：鉢地川 宮前橋

- 朝の観測は昼間とは違った様子（環境）が見られる。特に魚の多いことは今回のみではなく発見である。（昼はほとんどみられないが）

◆観測地点及び観測の様子

◆主な観測地点：山網川 矢作橋下流

- 活力のある伊勢湾再生に関して、このような企画、プロジェクトがあることを知りませんでした。大変良いことですので今後とも参加協力していきたいと

◆観測地点及び観測の様子

◆主な観測地点：矢作川 新幹線鉄橋下

- 矢作川の水辺の環境を守るため自分に何ができるのか？情報をください。
- 水辺での夏のバーベキューなど決められた場所以外は使用できないように、またできる場所はどこかなど情報が欲しい。
- 地域で矢作川の監視体制ができるといいと思います。

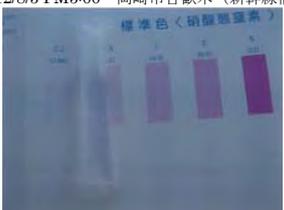
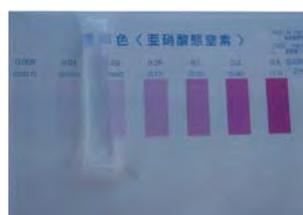
◆観測地点及び観測の様子



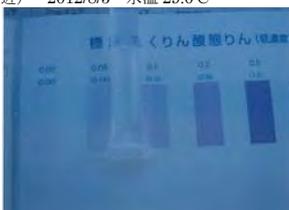
2012/8/5 PM5:00 岡崎市合歓木（新幹線橋付近）



2012/8/5 水温 29.0℃



NO3



PO4

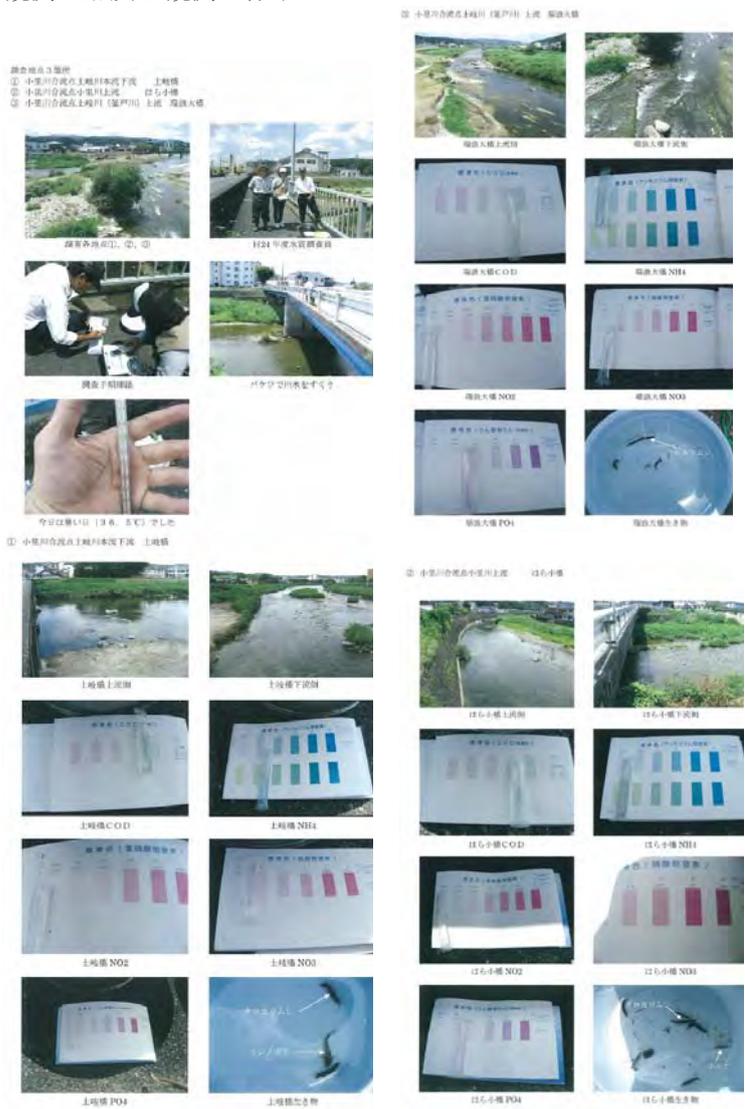
◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室

◆主な観測地点：釜戸川（土岐川）；瑞浪大橋、土岐川；土岐橋、小里川；はら小橋

- ・ 今回の調査エリアでは、この時期、かつて（25年程前のこと）鮎友釣人が大勢いて、陶磁器産業の釉薬等で川底が白く、鮎の体色が白っぽかったが、水温が高いのか、岩苔の成長がよいので鮎は大きく育ち、私も友釣りを楽しんだのを懐かしく思い出しました。高度経済成長期、この流域には、ゴルフ場がたくさん造られたり、それと河川の水量がなぜか減り、鮎の病気も発生したようで、鮎放流もされなくなった。残念ながら、この地点では、もはや鮎釣人は見かけません。ゴルフ場の除草剤への関心や陶磁器産業の衰退や、環境意識も高まって、この地点の水質はかなり改善しているかもしれない。そんな思いで、調査をしました。

川にゴミなど見当たらず、目視では水の色も透明に近い。聞くところによると小里川合流地点から下流土岐橋の間で、今年度試験的に鮎の放流がされたそうです。測定値の COD=7 mg/l では、どうも棲息できないと判断できる。岩苔の「赤ぐされ」が原因で COD のか？他の原因なのか、わからないが、その他の値はよさそうなので、時期をずらして、調査することも必要かもしれない。いつか鮎友釣風景がまたみられるようになることを夢んでいます。

◆観測地点及び観測の様子

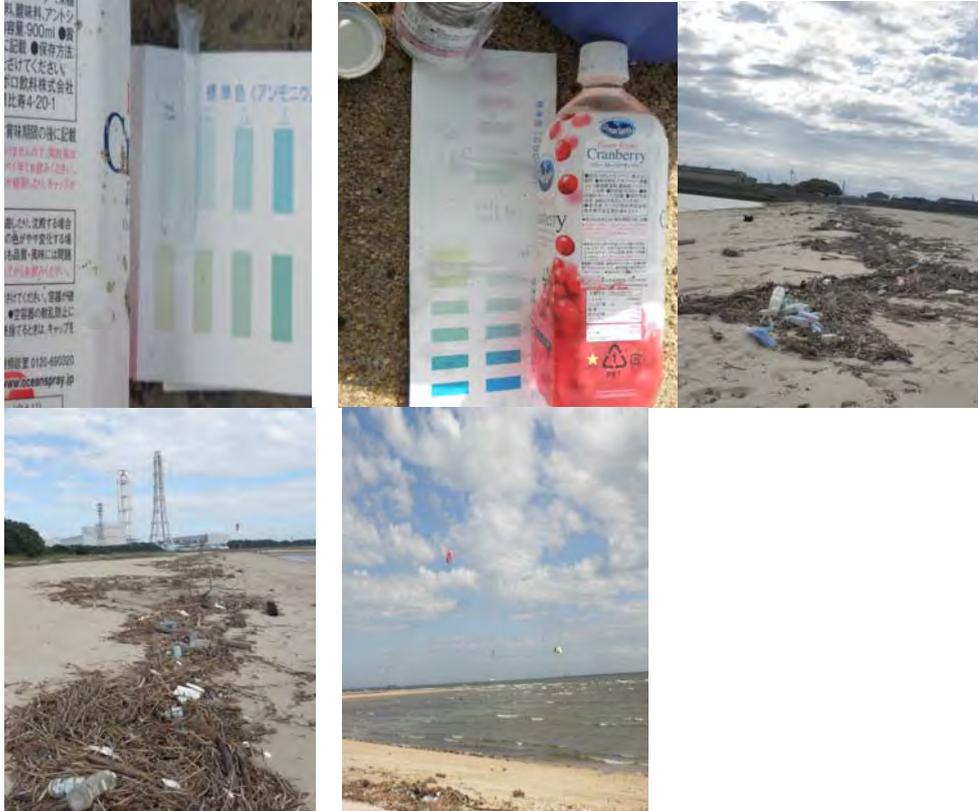


◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会

◆主な観測地点：高松海岸 朝明川河口

- ・ 海水の透明度が高いと感じた。
- ・ 打ちあがったゴミは間伐材の後始末がなされていないと思った。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：NPO 法人緑の会羽津（米洗川探検グループ）

◆主な観測地点：米洗川 上流

◆主な観測地点：米洗川 下流

- ・ 今後も調査の継続と、参加したいと思っています。
- ・ 多くの方に PR し参加を啓発して関心を持ってもらう。
- ・ 今回、当会が調査した米洗川は小河川でしたが、「ちりも積もれば山となる」大事なことと思います。
- ・ 子供と大人とのコラボレーション、意義があると思います。

◆観測地点及び観測の様子



◆参加者名、団体名：大垣市生活学校

◆主な観測地点：大垣市 水門川

- 直接的に「伊勢湾流域圏」になるのかどうか？ 川はつながっていると思えばよいのかもしれませんが。以前時々調査地点辺りを眺めた時は丁度橋の下で整形外科の側ということもあり、ポイ投げのゴミが多かった。A地点、B地点はその橋より下流30m位の所で北の支流が流れ込む手前のよどんだ所で、においもあった。この日の調査時は水量が多く流れていたのに驚いた。ゴミも何も流されてしまって見当たらなかった。コイの姿もほとんど見えない。B地点の側にも老人施設がある。

